



2018-2019 年度

国際ロータリー会長 / パリー・ラシン
2690地区ガバナー / 末長 範彦

会長 / 小汀 泰之 副会長 / 持田 稔樹
幹事 / 來間 久 会計 / 黒田 昌弘

■平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F
TEL : 0853-63-3232 / FAX : 63-5365 / IP : 050-5204-5816
URL : <http://hirata-rotary.jp/> Mail : office@hirata-rotary.jp
9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝祭日 休局)

■例会プログラム

例会日	卓話者	演題
1月24日	鹿島神社 (出雲市武志町)	職場訪問例会
1月31日	休会	
2月7日	米山奨学生 ティドルナ 様	日本留学の思い出
2月14日	休会	

■出席報告

会員数	出席者数	欠席者数	出席率	前々回補正出席率
43	31	12 (4)	79.49 %	89.74 %

■欠席者

加藤昇 / 石原俊 / 高砂 / 松浦 / 日野 / 飯塚俊 / 原伸 / 園山 (山根 / 牧野 / 遠藤 / 大谷厚)

■来訪者

石田・小玉・竹内(出雲南) 堀江・中田・溝本・江角(松江しんじ湖) 中林(出雲中央)

■メイクアップ

1/18 飯塚詔・大島卓・加藤昇(出雲南) 1/23 大島卓・内田(大社)

■次回例会受付当番

(2月7日) 原 伸雄 / 日野寿明 / 堀江卓男
(2月21日) 神田慎一 / 飯塚大幸 / 飯塚詔夫

■近隣クラブ例会情報 (メイクアップを考えましょう)

月	出雲中央	松江南 1/28
火	出雲	松江しんじ湖 1/29
水	大社	松江 1/30
木	(一); ビジター受付 なし	松江東 1/31
金	出雲南	

■会長挨拶

■スマイル

小汀 (本日はようこそ当社へおかけ下さいました。)
佐々木 (小汀会長、今日は色々ありがとうございます。)
清原 (小汀会長、本日は大変お世話になります。)
福田 (初めて参拝します。)
久家 (本日は年明けにすがすがしい気持ちで参拝できました。ありがとうございます。)
堀江 (本日はお世話になります。)
大島卓・伊藤・榎野・原孝・石原輝・飯塚詔・黒田・飯塚大・持田稔・内田板垣・釜屋・田中浩・原泰・杉原・土江・大谷良・持田祐・三好・大島淳
神田 (鹿島神社様、本日は大変お世話になります。よろしく願い致します。)

■スピーチ・例会行事

会長挨拶及び鹿島神社について

今日は、職場訪問例会に私が奉仕している「鹿島神社」へようこそおいで下さいました。当社は、多くの皆様方からの浄財により平成28年10月29日に遷宮を行い、中殿、拝殿を新築した現社殿になりました。まだ、木の香りがいたします。

当社の由緒等は、次の通りです。

- 一、鎮座地 出雲市武志町六七三番地
- 二、御祭神(四柱)
武甕槌命 (たけみかづちのみこと)、経津主命 (ふつぬしのみこと)、天鳥船命 (あめのとりふねのみこと)、櫛八玉命 (くしやたまのみこと)
- 三、例大祭 10月26日(この日に「式包丁神事」を行っています。)
- 四、御由緒

当社の御由緒は出雲大社と大変関係が深く、建国神話において天孫降臨の前段階、大国主命と国譲りの談判が行なわれた際、高天原(たかまがはら)方は武勇の名も高かった武甕槌命、経津主命、天鳥船命の三神を派遣し国譲りを強硬に迫り、大国主命の帰順によって平穩に目的は達成されました。

大国主は、この地「多芸志の小浜(たぎしのおばま)」に「天の御舎(あめのみあらか)」を建て、武甕槌、経津主の二神はしばらくそこに逗留され、開拓に従事せられたと伝えられています。その時、櫛八玉命は鳥の鶴に姿を変えて海中に入り、海底から持ち帰った粘土で土器を作り、海藻の固い茎で作った火きり臼(うす)と火きり杵(きね)で火をおこし、魚貝海藻を採集して料理し、神々に奉っておもてなしになったと、神話の書『古事記』、『日本書紀』に記されています。

江戸時代、今を去る約三百年前に編纂された出雲の国の社寺地誌の本『雲陽誌』(1717年刊)の神門郡武志の項には、現在の鹿島神社は小浜明神(おばまみょうじん)、鹿嶋明神(かしまみょうじん)として記され、櫛八玉命は膳夫神(かしわでのかみ)、または中島明神と記され、前者は武神として、後者は料理・陶芸の神として近郷の尊信をうけ、多くの参詣者があったと記されています。また、幕末の旅行案内記『出雲神社巡拝記』(1833年刊)には、「多芸志の小浜」は「往古は海辺、今は平地となりこのあたりは格別の「神跡」なり」とも記されています。古くから宮座があり、武志の郷の鎮護の氏神として現在も崇敬されています。

なお、斐伊川の中州にあった膳夫神社は、たびたびの氾濫で被害を受けることが多く、明治四十四(1911)年十月二十二日鹿島神社へ合祀されました。地元ではこの地を「板御前原(いたごぜんばら)」と呼んでいます。本日は、皆様お揃いでご参拝いただき誠にありがとうございました。

